

第 56 回日本語教育方法研究会（オンライン開催） 発表申込のご案内

事務局

会員の皆様へ

お世話になっております。JLEM 事務局の中川です。

前回総会および研究会ニュースレターでお知らせしたように、新型コロナウイルス感染症に関する見通しが不透明なことから、第 56 回研究会は 3 月 16 日（火）にオンラインで開催いたします。第 56 回研究会では、新規の発表を募集しますが、変更点がいくつかありますので、ご注意ください。

JLEM ニュースレター (<http://jlem-sg.org/pdf/vol-49.pdf>)

1) 発表方法

第 56 回研究会では、以下の方法でポスター発表を行います。

- ①オンライン会議システムの Zoom を利用する。
- ②Zoom のブレイクアウトセッションを利用し、一つの発表に一つのセッションを割り当てる。
- ③発表者は、Zoom の画面共有機能でポスターを見せながら発表を行う。  
(後述のように、発表時に画面共有できるのは、事前に提出した A4 縦長のポスターのみ)
- ④参加者が事前にポスターを見ることができるよう、ポスター閲覧サイトにて発表用ポスターの閲覧、ダウンロードができるようにする。
- ⑤発表は、を 1 サイクル 20 分（説明 10 分、質疑応答 10 分）とし、一つのセッション（60 分）の中で 2~3 サイクル行う。この際に使用できるのは、事前に提出した発表用ポスターのみ（口頭発表のようにパワーポイントのスライドを順番に複数見せて説明するということはありません）。
- ⑥発表者は、質疑応答時には、必要に応じてポスター以外の資料を示すことができる。

先日研究会内で行ったオンラインポスター発表試行を録画したものが以下からご覧になれますので、こちらも参考になさってください。

<https://www.youtube.com/watch?v=r03PStedy3g&feature=youtu.be>

また、④のポスター閲覧サイトのサンプルは以下からアクセスできます。こちらで上記の発表動画で使用したポスターを閲覧できます。

<https://sites.google.com/view/jlem-poster-sample55/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>

運営上の都合により、発表題目の上限を 90 件とし、それを超える発表申し込みがあった場合には、発表申込をされた方から抽選で発表をしていただく方を決め、抽選から漏れた方は、会誌原稿掲載をもって発表成立といたしますので、ご了承ください。

## 2) 発表資格について

発表するためには、発表者全員が発表申し込み時点で会員であり、2020 年度の会費を支払い済みである必要があります。

会員の方は、2021 年 1 月 21 日（木）までに 2020 年度の会費納入を完了してください。2019 年度、2020 年度の 2 年分の会費が未納の方が、1 年分の会費 3000 円を振り込んだ場合、2019 年度の会費に充当され、2020 年度の会費は未納という扱いになります。

また、新たに入会される方は 2021 年 1 月 21 日（木）までに入会申し込み・会費納入の両方を完了してください。

1 月 22 日（金）以降の会費納入、入会申し込みには対応できません。

会費納入状況については、研究会ウェブサイトの以下の「会員ページ」→「会員ログイン」→「会費納入状況」からご確認になれます。

<https://secure.jlem-sg.org/>

なお、会費振り込みは、JLEM で会員として登録している名前で行ってください。大学名や別名義の振り込みだと会計担当が入金を確認できません。登録している名前以外で振り込みを行う場合には、必ずその旨下記の問い合わせフォームよりご連絡ください。

<https://secure.jlem-sg.org/contact>

1 月 25 日（月）13 時の発表申し込み締め切り後に、事務局が発表者の発表資格を確認しますが、発表資格がない発表者が含まれる発表課題については発表申込を受理できませんので、ご注意ください。これまで、早めに発表申し込みをされた方で、事務局の確認により発表資格がないことが判明した方については、事前にその旨お知らせすることがありましたが、発表申込方法の変更に伴い、今回からはそのようなご連絡はいたしかねますので、ご了承ください。

## 3) 発表申込方法（申込締切：2021 年 1 月 25 日（月）13 時（日本時間））

第 56 回研究会の発表申し込みは、これまでと異なる点がありますので、ご注意ください。これまで、まず発表申し込みをしたうえで、会誌原稿を提出するという 2 つのステップを踏んでいましたが、今回から発表申し込みの際に会誌原稿を提出していただきます。発表申込フォームに必要事項を記入、会誌原稿ファイル、チェックリストをアップロードの上、提

出すという形をとります。

発表申し込み時の必要事項は以下の通りです。

- ①筆頭発表者名・所属\*
- ②筆頭発表者名フリガナ\*
- ③筆頭発表者メールアドレス\*
- ④第二発表者名・所属
- ⑤第二発表者名フリガナ
- ⑥第二発表者メールアドレス
- ⑦第三発表者以降の名前、フリガナ、所属
- ⑧発表資格に関する確認\*
- ⑨発表題目\*
- ⑩発表要旨（200～300字程度）\*
- ⑪会誌原稿（ワードファイル）\*
- ⑫会誌原稿（PDFファイル）\*
- ⑬JLEM 会誌原稿チェック項目シート（エクセルファイル）\*

\*は必須項目です。

以下の発表申し込みフォームよりご提出ください。

<https://pro.form-mailer.jp/fms/d049146d211845>

なお、会誌原稿の執筆については、「6）会誌原稿執筆要領」をご参照ください。

また、入力情報に誤りがある場合には、上記フォームより再度送信するのではなく、以下のメールアドレスまで、修正事項をお知らせください。

[happyo@jlem-sg.org](mailto:happyo@jlem-sg.org)

#### 4) 当日の発表者数について

運営上の都合で、当日の発表者は各発表グループ筆頭発表者、第二発表者の 2 名までとします。プログラム確定後、研究会参加者には事前申し込みをさせていただきますが、当日の発表者ではない共同発表者が研究会に参加される場合にも、同様に事前申し込みをお願いいたします。なお、その場合でも実際に発表を行うことができるのは筆頭発表者、第二発表者のみです（発表後のディスカッションに参加することを妨げるものではありません）。

#### 5) 発表用ポスターの提出について

1) の③にもあるように、参加者が事前に発表用ポスターを見ることができるよう、ポスター閲覧サイトにて発表用ポスターの閲覧、ダウンロードができるようにします。その関係で、発表者の方には、3月1日（月）13:00 までに、事務局に発表用ポスター（A4 縦長サ

イズの PDF ファイル) を提出していただきます。なお、3月16日(火)の研究会当日のポスター発表時に画面共有できるのは、事前に提出したもののみです。

#### 5) 今後のスケジュール

今後のスケジュールは以下の通りです。

- 1月21日(木) 入会申し込み・会費納入期限
- 1月25日(月) 13:00 発表申し込み締め切り
- 2月8日(月) 参加者募集開始
- 3月1日(月) 13:00 発表用ポスター提出期日
- 3月9日(火) 発表ポスター事前閲覧開始
- 3月16日(火) 第56回研究会当日

#### 6) 会誌原稿執筆要領

6-1) 原稿枚数：A4の用紙2枚でご執筆ください。制限枚数を越えたものは掲載しません。

6-2) 執筆要領：研究会ウェブサイトよりフォーマットをダウンロードし、それに直接書き込む形で作成してください(そうでないと書式がフォーマットに合わなくなる可能性があります)。

<http://jlem-sg.org/announcement.html>

#### 6-3) 執筆に関する注意点

- ・原稿にはデータ、結果の考察を含めてください。「結果については後日、研究会で発表」という様な形にせず、論文として完結した体裁を取ってください。

- ・発表予稿集ではなく会誌のため、本文では、「本発表は」「発表者は」などという表現ではなく、「本研究は」「本稿は」「筆者は」などの表現を用いるようにしてください。

- ・提出された原稿はそのまま縮小印刷します。鮮明な原稿をご用意ください。特殊な記号や文字をご使用の場合もご注意ください。図、表についても同様です。

- ・作成後は、原稿を一度印字し、文字間・行間の広さがフォーマットと同様になっているか、ご確認ください。文字間・行間が広すぎ、編集の際に修正にかなり時間のかかるケースがあります。

#### 6-4) 日本語による題目・氏名・所属、および英文による題目・氏名・所属

- ・日本語による題目・氏名・所属は会誌目次と会誌本文、英文による題目・氏名・所属は会誌本文に掲載します。

- ・発表申し込み時に記載する題目・氏名・所属は、会誌原稿と同一の内容にしてください。

- ・題目は、申込時に書かれたものから変更できないことにご注意ください。

#### 6-5) 英文要旨

- ・英文要旨は100ワード程度で、発表申し込み時に記載する和文要旨と同一の内容にし

てください。ただし、一言一句対応したものでなくてもかまいません。

・英文の題目および要旨に関しては、必ずネイティブチェックを受けて下さい。また、日本語非母語話者の方は、本文のネイティブチェックを忘れずに受けてください。

・「結果については後日、研究会で発表」というような記述にはしないでください。

・本文同様、「本発表は」「発表者は」などという表現ではなく、「本研究は」「本稿は」「筆者は」などの表現を用いるようにしてください。

#### 7) 発表用ポスターについて

繰り返しになりますが、「1) 発表方法」「5) 発表用ポスターの提出について」にあるように、発表用ポスターは A4 縦型のもの 1 枚としてください (事前に提出していただくものと当日発表で使用するものは同一のものとしてください)。研究会当日の発表では、事前提出したポスターを画面表示しつつ説明、質疑応答を行います。口頭発表のようにパワーポイントのスライドを順番に複数見せて説明するということはできません。

#### 8) 会誌原稿のジャーナル公開サイト掲載の承諾について

会誌は発行から 1 年を経過したものから逐次ジャーナル公開サイト (J-stage) に掲載し、「無償公開」といたします。その手続きの一環として、発表申込と同時にジャーナル公開サイト掲載の承諾をしていただいたものとして取り扱います。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

以上、よろしく願いいたします。